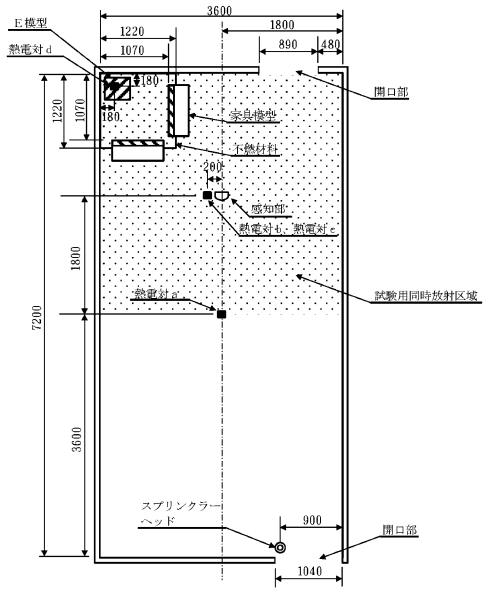
別図６

（平面）　〔単位：ミリメートル〕



備考　天井の高さは2.5メートル以上とし、天井の材料は厚さ5.0ミリメートルのけい酸カルシウム板とすること。

壁の材料は、厚さ5.5ミリメートルのラワン合板（合板の日本農林規格（平成15年農林水産省告示第233号）で規定する普通合板のものをいう。）とすること。

壁に２箇所の開口部を設けて、当該開口部の高さは2.2メートルとすること。

E模型は、近接する壁から50.0ミリメートル離して置くこと。

熱電対ａ及び熱電対ｂは、天井の屋内に面する部分から下方に76.0ミリメートルの位置とすること。

熱電対ｃは、床面から上方に1.6メートルの位置とすること。

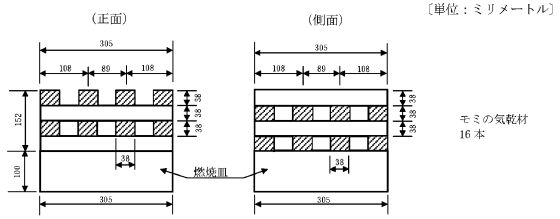
熱電対ｄは、天井裏に面する部分から上方に6.0ミリメートルの位置とすること。

試験用同時放射区域は、[::::]の部分とすること。

別図７

（E模型）

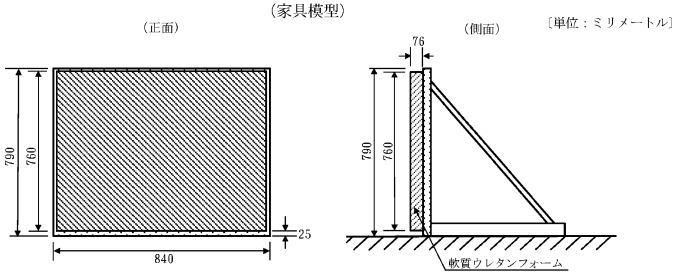
〔単位：ミリメートル〕



備考　モミ材は、質量2.5キログラム以上3.2キログラム以下のものを用いること。

別図８

（家具模型）



備考　軟質ウレタンフォームは、密度27.2キログラム毎立方メートル以上30.4キログラム毎立方メートル以下のものを用いること。

別図９

（F模型）

